

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 豊かな学びを実現する授業改善計画の構築
- 学び合い活動の充実による学習意欲の向上
- 家庭学習の動機づけ

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 「わかる・できる」授業を積み重ね、基礎的・基本的事項の定着を図る。
  - 授業の最初に、本時の課題を明確に提示することと合わせて、最後には振り返りの時間を必ず設け、学習を定着させる。
  - 繰り返し指導や生徒の理解に応じた課題の与え方などを工夫し、個に応じた指導法を実現する。
- 2 生徒一人ひとりが思考し、表現できる授業をつくる。
  - アクティブ・ラーニングの手法を授業に取り入れ、体験的な活動や話し合い、学び合い活動を重視した学習モデル（「植竹モデル」）を研究し、確立する。
- 3 「よい授業」アンケートと学校独自で作成したアンケートの結果を分析し、「植竹モデル」を念頭に置いた授業を実施する。
- 4 家庭学習の充実を図る。
  - 全校で生活記録ノート「植竹 Everyday」を活用し、学校での学習を振り返るとともに、家庭学習への意欲・充実につなげる。

## ＜本年度の振り返り＞

## ＜成果＞

- 自ら学び、自ら考え、よりよく課題を解決できる生徒が増えてきた。
- 生徒同士が学び合う活動を授業でより多く取り入れたことにより、学び合い、高め合い、自らの考えを深めようとする姿勢が身に付いた。
- 「植竹モデル」を策定し、それに基づいた授業を目指して各教科で研究を実践した結果、見通しをもった学習や学習の振り返りやまとめが効果的に行われるようになった。
- 「植中研究通信」を発行し、授業研究を中心に学校課題研究について全家庭に発信した。さらに、学校評議員・学校関係者評価委員会等において報告を行うなど地域にも学校の取組を知っていただくことができた。

## ＜課題＞

- 「生徒が主体的に取り組む」手立てについては、まだ検討できる余地がある。来年度の課題としたい。

